

令和5年度の自己評価結果公表シート

1 園の教育目標

- ①心身ともに健康でたくましい子ども
- ②全てのを慈しみ思いやれる子ども
- ③自分の思いや感じたことを素直に表現できる子ども
- ④自分の考えたことを行動に移し最後までやり遂げる子ども
- ⑤人とのかかわりの楽しさがわかり大切にできる子ども

2 令和5年度の学校評価の目標や計画

- ① 5年度からいろいろな制限は軽減されたが、子どもの健康観察は今まで同様に充分行い保育をすすめる
- ② 子どもたちがのびのびと遊びを楽しみ、活動ができるように援助、助言をする
- ③ 一人ひとりがいろいろな活動や行事を通して成長していけるように見守り、活動できる場を提供する

3 評価項目の取り組み状況と達成度評価

156/220 人中(中間アンケート)

140/235 人中(年度末アンケート)

| | 評価項目 | 取り組み状況 | 保護者による達成度評価 (%) | | 教職員による達成度評価 (%) |
|---------|--|--|-----------------|-------|-----------------|
| | | | (中間) | (年度末) | (年度末) |
| 保護者・教職員 | 園の教育目標の達成を確認しながら子どもたちの成長ぶりを評価した。 | 教育目標が達成するよう教育課程を基に保育を進め、子どもを一人ひとり見つけ関わっている。 | 98.7 | 98.8 | 89.4 |
| | 子ども一人ひとりに生活習慣が身につく、友だちとのよい関係が築けているか子ども一人ひとりが自分の力を十分発揮できているか。 | 生活習慣を身につけさせる 子どもの思いをじっくりと聞き、子ども同士のかかわりが十分持てるように配慮、援助している。いろいろなことを体験できるようにしている。 | 97.6 | 98.8 | 94.1 |
| | 健康についての配慮を色々しているが、健康管理に役立っているか。(おたより、けが、病気への対応、食育の指導など) | ほけんだよりでお知らせをしたり、健康管理について子どもたちの意識も高めている。またけがや急な体調不良の時保護者にしっかり状況を伝えるようにしている。 感染症の情報提供も行った。 | 98.0 | 96.5 | 97.0 |
| | 避難訓練や、防犯、交通安全教室などを行っているが、その取り組みの成果はどうか。危険な遊びをしていないか。 | 警察や消防署と連携して園内で指導をしていただく機会を作ったり、長期休暇前に子どもたちに交通ルールや防犯に関する話をしている。また外あそびや自由あそびには看護する教師がいるようにしている。 | 90.4 | 95.7 | 92.0 |
| | いろいろな情報はお手紙などで周知できるようにしているが分かりやすく伝わっているか。 | お手紙は、保護者にわかりやすいよう詳しく記すようにしている。また急なお知らせはアプリを利用して迅速に知らせるようにしている。 | 97.4 | 99.3 | 92.5 |
| | 子育て支援、預かり保育は保護者の求めているものになっているか。 | 11時間開園における預かり保育をしている。またカウンセリングも、臨床心理士の先生に來園していただいている。(月2回) 未就園児への園庭開放を行っている(月1回) 未就園児の親のおしゃべり会を行っている。(週1回) | 91.0 | 94.2 | 85.0 |
| | 施設整備の充実と維持管理をして子どもが楽しくすごせるように配慮できているか。 | 室内、室外ともに子どもたちが楽しくすごせるように遊具などを整備している。子どもたちにあそびが深まり広まるような声かけをしている。 | 97.4 | 98.6 | 92.5 |

※ (A) 100%~80% (B) 79%~60% (C) 59%以下 と評価する

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

| 結果 | 理由 |
|----|--|
| A | <p>令和5年5月から子どもたちの活動において制限がなくなり、人とのかかわりや声の大きさ・人との距離を気にしないで遊ぶことが出来るようになった。</p> <p>運動場では自由あそびでいろいろな学年・クラスの子どもたちが交わって自分の好きな遊びを選んで楽しくのびのびと遊ぶことができた。いろいろな遊びのルールも知り、守って遊ぶことが集団の中で自然と培われていた。保育にもいろいろな活動を取り入れることが可能となり、内容も豊富になった。</p> <p>子どもたちにとってのびのびと遊べる環境の中で体得していくことがとても大切であるということが実感できる1年だった。</p> |

5 今後取り組むべき課題

- ① 子どもたちが自分のあそびを見つけたり、自分の思いを相手にしっかり伝えることができ、相手の気持ちもわかろうとするように助言、配慮をしていく。
- ② 一人ひとりがいろいろな活動や行事を通して成長していけるように見守り、必要な援助をする。
- ③ 催しや行事などコロナ前に時期や内容などを戻していくかどうか検討をして、子どもたちのよりよい経験となるように計画していく。

6 その他のご意見について

アンケートに書いていただいたご意見については教職員で確認し、今後の改善に役立てていけるようにする。教職員の反省や気づきになったり、はげみとなるご意見などもたくさんいただき、ありがたく思った。



令和5年度においては保護者の方の達成度評価の結果がとても良いと感じました。それは子どもたちがのびのびとすごせる遊びの環境の中で友だち同士お互いに高めあうことにつながったことを保護者の方に評価していただけたからだと考えました。

コロナ禍の時のようにクラスの活動や少人数で遊ぶだけでなく今年度のように縦割りの活動や園全体が集まる行事、催しが子どもたちの良い経験となり、成長を促していったことから、今後も子どもたちのためにいろいろ工夫をし、楽しい思い出と成長の機会を先生方は子どもたちに与えていってあげていただけたらと思います。